

平成22年度（2010年度）

市民意識調査報告書

* — * — はじめに — * — *

南丹市も、市制を施行して早や5年が経過しようとしています。

私は、南丹市が誇りときずなで満ち溢れるようなまちにしたいとの思いから、総合振興計画の策定に着手し、その着実な実行を主眼において様々な取り組みを進めて参りました。

しかし、この間には、金融危機を発端とした世界的な経済不況や、政権交代による新たな局面への転換など、様々な分野において大きな変化が生じています。

また今後についても、雇用情勢の悪化や円高、デフレの影響により、財政的にも厳しい状況が続くものと予想されます。

この様な中で、市民の皆様にご満足していただくためには、ニーズを知り、より良いサービスへと的確に転換して行く事が重要であると考えています。

そこで、「市民意識調査」を実施し、市民の皆様がまちづくりに対しどのような実感を持たれているのかについて把握することといたしました。

本報告書は、平成 22 年度に実施した意識調査の結果を基に、市の置かれている状況や課題等を整理したもので、今後のまちづくりの参考資料として大いに活用していきたいと考えます。

最後に、本調査にご協力いただいた市民の皆様にご改めて御礼を申し上げます。

平成 22 年 12 月

南丹市長 佐々木 稔 納

* — * — 目 次 — * — *

はじめに	1
目次	3
調査概要	5
集計結果	13
(1) 住みやすいと感じている市民の割合	14
(2) 魅力あるまちだと感じている市民の割合	15
(3) 過去1年間に運動をした市民の割合	16
(4) 安心して医療を受けられる体制だと感じる市民の割合	16
(5) 高齢者が安心して暮らせるまちだと感じる市民の割合	17
(6) 障がいのある人が安心して暮らせるまちだと感じる市民の割合	18
(7) 安心して子育てできると感じている市民の割合	18
(8) 地域で子育てができていると感じている市民の割合	19
(9) 子ども達が適切な教育環境で学んでいると感じている市民の割合	20
(10) 南丹市内の商店（商店街）はにぎわっていると感じる市民の割合	20
(11) 南丹市で生産された産品を意識して購入された市民の割合	21
(12) 南丹市の自然や景観が適切に守られていると感じる市民の割合	22
(13) 市政についての確に情報が得られていると感じる市民の割合	22
(14) パソコン等を利用して生活に必要な情報を得ていると感じる市民の割合	23
(15) 災害や防犯に関する情報が、市からの確に提供されていると感じる市民の割合	24
(16) 災害に備え、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備をしている市民の割合	24
(17) 防災の面で安心して暮らせるまちだと感じている市民の割合	25
(18) 性別や年齢、国籍などによる差別事象は減っていると感じる市民の割合	26
(19) 過去1年間に、人権に関する学習の取り組みをした市民の割合	26
(20) 住んでいる地域には活力があると感じる市民の割合	27
(21) 地域活動や市民の自主的な活動に参加した市民の割合	28
(22) 風俗や伝統などは、自分たちが引き継いでいかなければならないと感じている市民の割合	28
(23) 様々な分野において、大学などとの交流・連携が盛んに行われていると感じる市民の割合	29
(24) 税金がまちづくりに有効的に活用されていると感じている市民の割合	30
(25) 南丹市が行う行政サービスに、満足していると感じる市民の割合	30
市民からの意見	32
1. 市民の困りごと・心配ごと	
2. まちづくりに対する意見・提案	

* — * — 調 査 概 要 — * — *

1. 調査名 南丹市市民意識調査
2. 調査対象 南丹市市政モニター登録者 64 名と市民の中から無作為に抽出した 1,336 名
3. 調査方法 調査用紙の郵送法
4. 調査実施期間 平成 22 年（2010 年）7 月 7 日～30 日
5. 調査時点 調査用紙に記入された時点
6. 回収結果 561 名（回収率 40.1%） 〈前年度比〉△0.4 ポイント
7. 調査項目

南丹市全般について、医療・福祉、子育て、商業や生活環境、防災や防犯、社会問題、地域活動、公共施設や行政サービスなど、9 つの分野 25 項目について調査をしました。

まず、アンケートの冒頭で、南丹市の「住みやすさ」と「魅力」という大きなテーマについてご意見を聞きました。「住みやすさ」や「魅力」というものは、様々な要因が重なって感じられるものだと考えられますが、まずは市民の皆さんが、直感的にどう感じておられるかを知ることが重要です。

その上で、各々の設問を分析すれば、「住みやすさ」や「魅力」のある・なしの原因を探ることができると考えられます。

分 野	質 問 項 目
全 般	住みやすいと感じている市民の割合
	魅力あるまちだと感じている市民の割合
医 療 ・ 福 祉	過去 1 年間に運動をした市民の割合
	安心して医療を受けられる体制だと感じる市民の割合
	高齢者が安心して暮らせるまちだと感じる市民の割合
	障がいのある人が安心して暮らせるまちだと感じる市民の割合
子 育 て	安心して子育てできると感じている市民の割合
	地域で子育てができていると感じている市民の割合
	子ども達が適切な教育環境で学んでいると感じている市民の割合
商 業 ・ 生活環境	南丹市内の商店（商店街）はにぎわっていると感じる市民の割合
	南丹市で生産された産品を意識して購入された市民の割合
	南丹市の自然や景観が適切に守られていると感じる市民の割合
	パソコン等を利用して生活に必要な情報を得ていると感じる市民の割合
防 災 ・ 防 犯	災害や防犯に関する情報が、市からの確に提供されていると感じる市民の割合
	台風や地震などの災害に備え、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備をしている市民の割合
	防災の面で安心して暮らせるまちだと感じている市民の割合
社会問題	性別や年齢、国籍などによる差別事象は減っていると感じる市民の割合
	過去 1 年間に、人権に関する学習の取り組みをした市民の割合
地域活動	住んでいる地域には活力があると感じる市民の割合
	地域活動や市民の自主的な活動に参加した市民の割合

分野	質問項目
地域活動	地域で培われてきた風俗や伝統などは、自分たちが引き継いでいかなければならないと感じている市民の割合
	様々な分野において、大学などとの交流・連携が盛んに行われていると感じる市民の割合
行政サービス	市政についての確に情報が得られていると感じる市民の割合
	税金がまちづくりに有効的に活用されていると感じている市民の割合
	南丹市が行う行政サービスに、満足していると感じる市民の割合

各質問をお読みいただき、ご自身の率直なお気持ちやお考えに最も近い答えをひとつ選び、番号に○印をつけてください。
また、よろしければ.....に、答えを選んだ理由やご意見をお書きください。

まず、あなたご自身についてお教えてください。(統計結果の分析に活用させていただきます。)

性別	1. 男性	2. 女性		
年齢	1. 18~19歳	2. 20~29歳	3. 30~39歳	4. 40~49歳
	5. 50~59歳	6. 60~69歳	7. 70歳以上	
住所	1. 園部町	2. 八木町	3. 日吉町	4. 美山町
職業	1. 自営業・事業主・農業	2. 勤め人	3. 学生	4. 家事等
	5. パート等	6. 無職	7. その他()	

南丹市全般についてお聞きます。



問1 あなたは、南丹市が住みやすいまちだと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問2 あなたは、南丹市が魅力あるまちだと感じられますか。

1. 感じる
2. 多少感じる
3. どちらともいえない
4. あまり感じない
5. 全く感じない

医療・福祉についてお聞きます。



問3 あなたは過去1年間に、健康や楽しみのために運動をされましたか。

1. ほぼ毎日した
2. 週に数回程度した
3. 月に数回程度した
4. 年間で数回程度した
5. しなかった/できなかった

問 4 あなたは南丹市において、安心して医療を受けられる体制ができていると思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

問 5 あなたは、南丹市が高齢者にとって、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

問 6 あなたは、南丹市が障がいのある方にとって、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

子育てについてお聞きします。



問 7 あなたは、南丹市が安心して子育てのできるまちだと思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

問 8 あなたは、ご自分の住んでいる地域において、地域全体で子育てを支援する仕組み作りができていていると思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

問 9

子どもたちが、児童数や生徒数、施設の状況も踏まえ、適切な教育環境で学んでいると思いますか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

商業や生活環境についてお聞きします。



問 10

あなたは、南丹市の商店街（商業）がにぎわっていると思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

問 11

あなたは、南丹市で生産された野菜や加工品などの産品を意識して購入されていますか。

- 1. そうしている -----
- 2. どちらかといえばそうしている -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそうしていない -----
- 5. そうしていない -----

問 12

あなたは、南丹市において、自然や景観が適切に守られていると思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

問 13

あなたは、南丹市が発行する広報誌やホームページ、CATVなどを通じて、市政について情報が的確に得られていると感じますか。

- 1. 得られている -----
- 2. どちらかといえば得られている -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえば得られていない -----
- 5. 得られていない -----

問 14 パソコンや携帯電話などを活用して、生活に必要な様々な情報を得ていますか。

1. 得ている
2. どちらかといえば得ている
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば得ていない
5. 得ていない／得ることができない

防災や防犯についてお聞きします。



問 15 あなたは、災害に関する情報について、市からの確に発信される体制が整備されていると思われるですか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問 16 あなたは、台風や地震などの災害にそなえて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備などをされていますか。

1. つねに避難できるよう準備している
2. ある程度準備している
3. 意識はしているが、準備はしていない
4. まったく準備していない

問 17 あなたは、南丹市が防災の面で、安心して暮らせるまちだと思われるですか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

社会問題についてお聞きします。



問 18 世の中には、まだまだ性別や国籍、身体的障がい等による差別が残っていますが、あなたは近年南丹市において、これら差別が減ってきているとお感じですか。

1. 減ってきていると感じる
2. 多少減ってきていると感じる
3. どちらともいえない
4. あまり減ってきているとは思えない
5. 減ってきてはいない

問 19

あなたは過去 1 年間に、人権問題に関する勉強会、学習会、講演会、セミナーなどに参加されたことがありますか。

- 1. 何度も参加したことがある
- 2. 一度は参加したことがある
- 3. 参加したかったができなかった
- 4. 参加していない

地域活動についてお聞きします。



問 20

あなたは、ご自分の住んでいる地域に活力があると思われませんか

- 1. 大きな活力がある
- 2. 多少の活力がある
- 3. どちらとも言えない
- 4. あまり活力はない
- 5. 全く活力はない

問 21

あなたは過去 1 年間で、地域における様々な活動や、市民による自主的な活動に参加されたことがありますか。

- 1. ほとんど参加した
- 2. ときどき参加した
- 3. 参加したかったができなかった
- 4. 参加していない

問 22

あなたは、地域で培われてきた風俗や伝統、文化などについて、ご自分達が引き継いでいかなければならないと思われませんか。

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえばそう思わない
- 5. そう思わない

問 23

あなたは、ご自分の住んでいる地域において、大学などと様々な分野において、交流・連携が活発に行われていると思われませんか。

- 1. 活発に行われている
- 2. ある程度行われている
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり行われていない
- 5. 全く行われていない

行政サービスについてお聞きします。



問 24 あなたは、市民の税金がまちづくりに効果的に活用されていると思われませんか。

1. 効果的に活用されていると思う
2. どちらかといえば効果的に活用されていると思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば効果的に活用されているとは思わない
5. 効果的に活用されているとは思わない

問 25 あなたは、総合的に見て、南丹市が行っている行政サービスに満足していらっしゃいますか。

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば満足していない
5. 満足していない

上記の問で、4または5とお答えになった方にお伺いします。どのような点が不満足ですか。具体的にお教えてください。

.....

.....

日常生活の中で、今困っていることや、心配していることがあればお聞かせください。

.....

.....

.....

.....

南丹市のまちづくりに対するご提案や、ご意見をお聞かせください。

.....

.....

.....

アンケートは以上です。

お忙しいところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

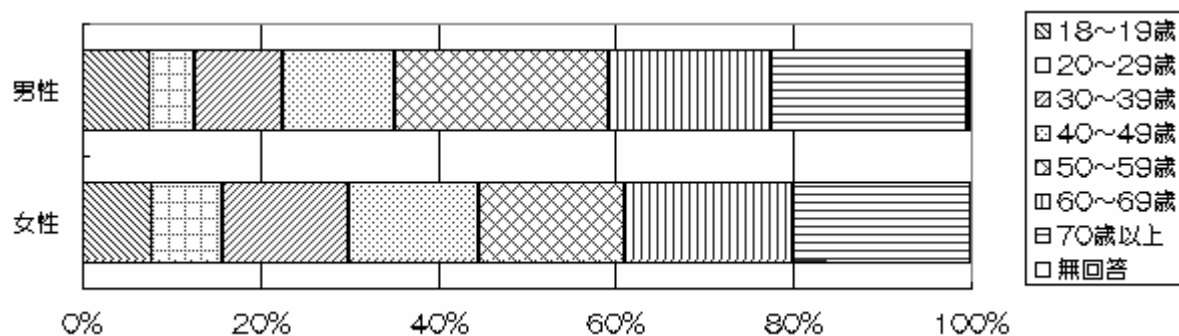
「集計結果」

回答集計から・・・

今回実施した市民意識調査の回答率は、平成21年度の調査に比べ0.4ポイント減少し、40.1%となりました。

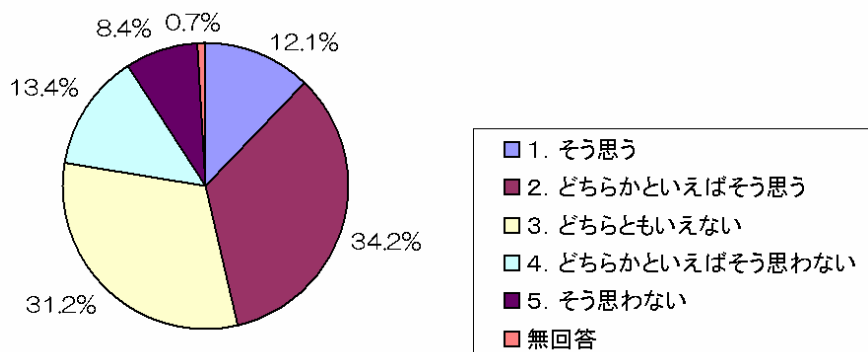
その回答者を男女別・年代別に分析してみると、女性の場合、10代と20代の回答率が10%に満たない状況にあるものの、それ以外の年代は14%~20%と、一つの年代が突出している状況ではなく、均等に回答を得られることができたといえます。

一方男性の場合は、圧倒的に50代以上の方からの回答割合が高く、10代~40代の回答率は、合計しても僅か25%という状況になりました。



1 南丹市は住みやすいまちだと思うか？

「住みやすいと実感」が50%を下回る！

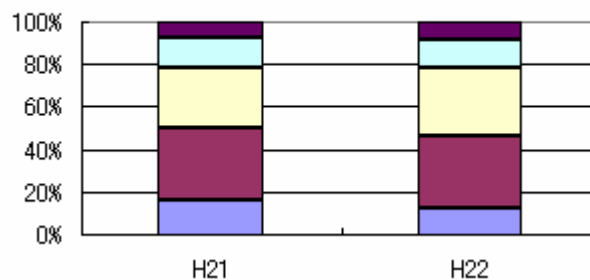


「南丹市が住みやすいまちと思うか」という質問に対して、46.3%の市民の方が「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と答えています。21.8%の市民の方が「住みにくい」または「どちらかといえば住みにくい」と答えています。「住みやすい」(「どちらかといえば住みやすい」を含む)と答えた方の割合は、昨年度調査(50.1%)に比べ3.8ポイント下がり46.3%となっています。

一方、「住みにくい」(「どちらかといえば住みにくい」を含む)と答えた方の割合は、前年度調査(21.6%)に対し0.2ポイント微増となっています。

全体の割合から見ると、南丹市は「比較的住みやすいまち」と判断することができますが、昨年より「住みやすい」と感じる方の割合が減っているのは注視すべき点です。

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)

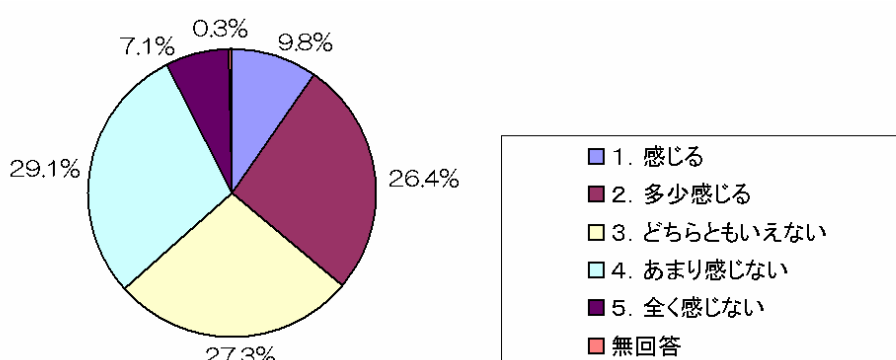


年代別に分析した場合、20代や70歳以上の年代では「住みやすい」（「どちらかといえば住みやすい」を含む）と感じている方の割合が50%を超えているのに対し、その他の年代では50%を下回っており、特に60代では40%を下回っている状況です。

「住みにくい」（「どちらかといえば住みにくい」を含む）とする理由として最も多いのは、「交通の便が悪い」で公共交通の不便さを指摘する意見は多く、「住みにくい」とする大きな原因の1つではないかと考えられます。その他の意見としては、「店がない」「まちに活気がない」などが挙がっていました。

2 南丹市は魅力的なまちだと感じるか？

「魅力度」意見は分かれる！



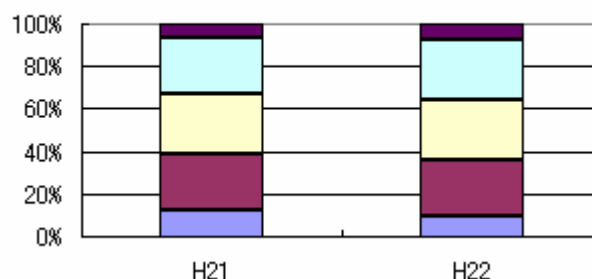
「南丹市が魅力あるまちだと感じるか」という問に対して、「魅力がある」または「どちらかといえば魅力がある」と答えた方は、昨年度より2ポイント下がり36.2%、「全く感じない」または「どちらかといえばそう思わない」と答えが、3.1ポイント増え36.2%と、意見は完全に二等分されました。

魅力があるという理由としては、昨年度と同様「自然が豊か」「観光資源が豊富」「空気とみどり、水がきれい」など自然環境の良さを挙げる人が圧倒的多数を占めています。

一方、感じないとした理由として、昨年度は「自然以外にこれといった魅力はない」という意見が多かったのに対し、今年度は「暮らしにくい」「活気がない」「町全体寂れつつある」など、まちの雰囲気や生活環境を指摘する意見へと変わってきました。

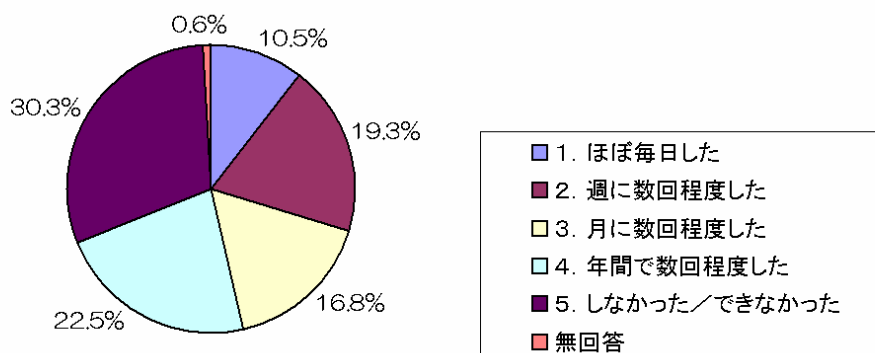
また、「地域間格差がある」「合併後してどの様な魅力がでたのか」など、行政の取り組みに対する意見もありました。

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)



3 過去1年間に健康や楽しみを目的とした運動をしたか？

市民の3人に2人が運動を実施！

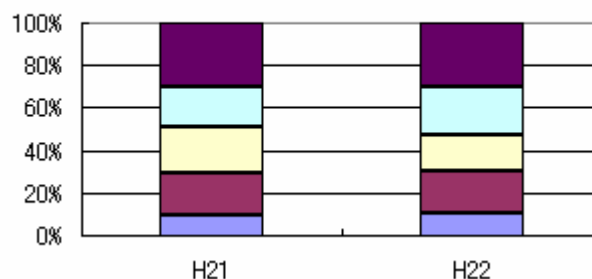


「過去1年間に、健康や楽しみのため運動をしたか」という問に対して、「運動をした」と答えた方は69.1%と、前年度の調査結果より0.7ポイント下がったものの、市民の約3人に2人は健康や楽しみのために、何らかの運動をされていることが伺えます。

「ウォーキングをしている」と答えた方が圧倒的に多く、幅広い年齢層の方が、日々の運動として実施されているようです。

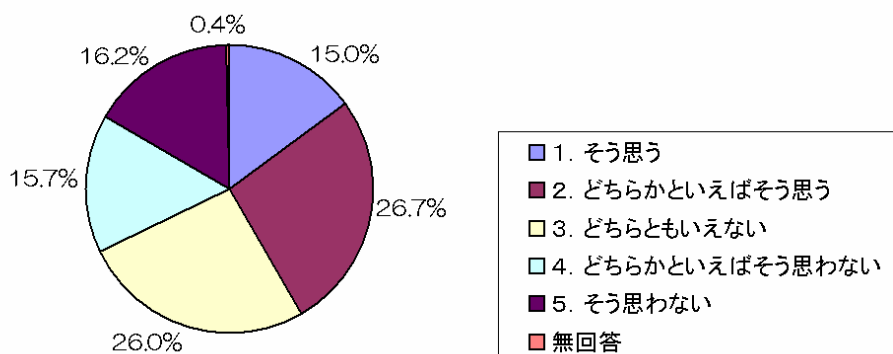
なお、実施しなかった理由として、「運動は好きではない」「機会がなかった」「情報が少なかった」という意見がありました。

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)



4 安心して医療を受けられる体制が整っているか？

市民の4割が「整っている」と回答！



「南丹市において、安心して医療を受けられる体制が整っているか」という問に対して、41.7%の方が「整っている」または「どちらかといえば整っている」と答えられており、「整っていない」(「どちらかといえば整っていない」を含む)と答えた人の割合も31.9%となっています。

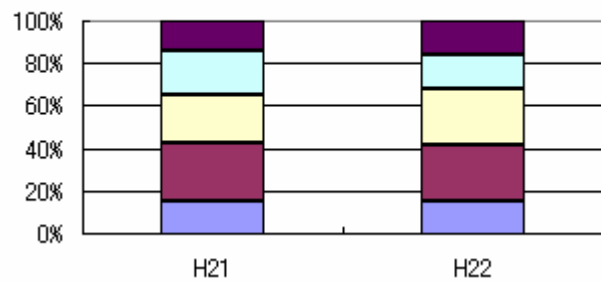
減少の割合からすると、「整っていない」と感じている人が、昨年度の調査から3.1ポイント減少しているのに対して、「整っている」と感じているは0.5ポイント微減しています。

結果、「どちらともいえない」という回答が22%から26%へと4ポイント増加したことになりま

す。

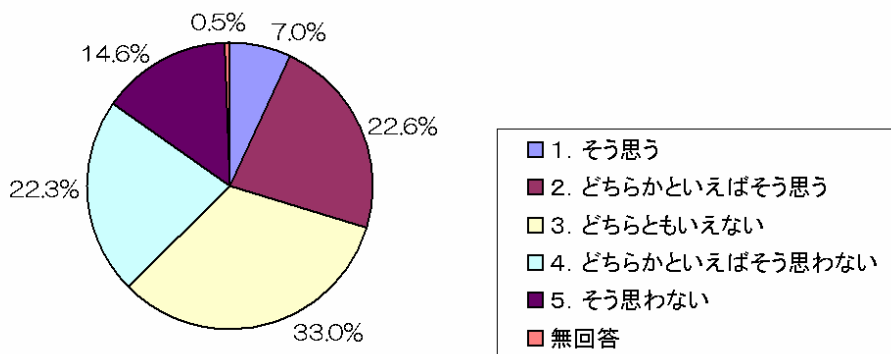
理由として、「専門医や総合病院はあるが、距離が遠い」「休日、時間外が不便」「救急時の対応が南丹病院だけだ」など、一定医療機関はあるものの、医療機関までの距離や交通などアクセスの問題、医療機関の体制の問題など違った側面の課題が同時に存在することが伺えます。

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)



5 高齢者にとって安心して暮らせるまちか？

70歳以上では40%以上が「安心」と回答！



「南丹市が高齢者にとって、安心して暮らせるまちか」という問いに対して、「安心できる」または「どちらかといえば安心できる」と答えた方は29.6%なのに対し、「安心できない」または「どちらかといえば安心できない」と答えた方は36.9%となっています。

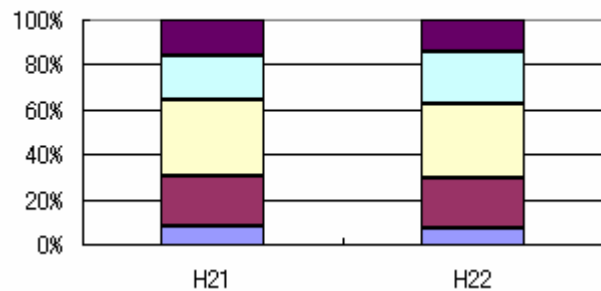
昨年度からは大きな変化は見られませんが、「安心できる」(「どちらかといえば安心できる」を含む)と回答された方の割合は0.8ポイント減少したのに対し、安心できない(「どちらかといえば安心できない」を含む)と回答された方の割合は1.4ポイント増加しています。

その理由として、公共交通の便の悪さを指摘する意見が多数を占めています。

しかし、70歳以上の方からの回答では、40%以上が「安心できる」(「どちらかといえば安心できる」を含む)と回答されており、安心できない(「どちらかといえば安心できない」を含む)と回答された方の30%を上回る結果となっています。

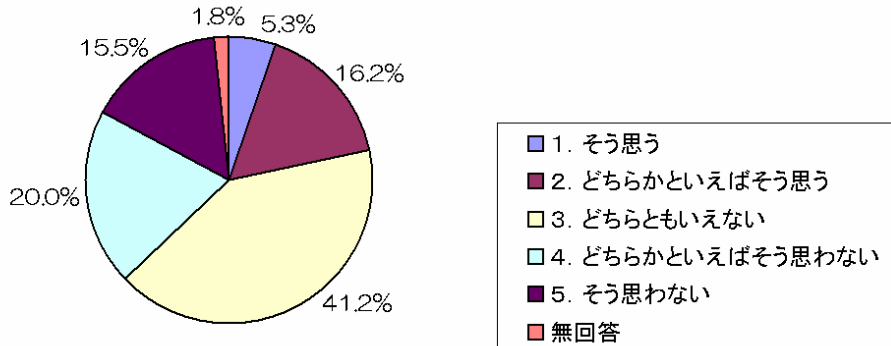
意見の中には、「人間関係が良いから。」や「空気や緑に囲まれており、気候が良くていい。」といったものがありました。

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)



6 障がいのある方にとって安心して暮らせるまちか？

市民の3人に1人が、
「安心して暮らせない」と回答！

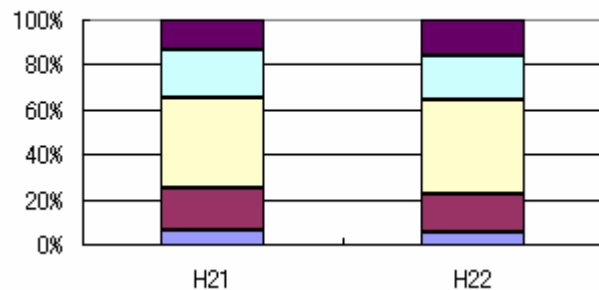


「南丹市が障害のある方にとって、安心して暮らせるまちか」という問いに対して、「安心できる」または「どちらかといえば安心できる」と答えた方は21.5%と、昨年度調査に比べ3.2ポイントも下がってしまいました。

一方、「安心できない」または「どちらかといえば安心できない」と答えた方は35.5%と、1ポイント増加しました。

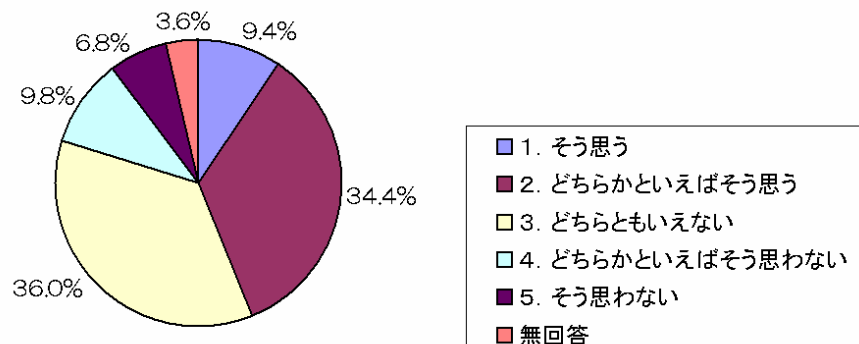
「安心できない」（「どちらかといえば安心できない」を含む）と答えた方からは、「交通（移動手段）の便が悪い」「駅や公共施設などバリアフリー化が進んでいない」「歩道の段差、くぼみ、水溜りが多く歩きにくい」「働ける場所がない」という意見が挙げられていました。ただし、40%を超える方が、どちらともいえないと答えられており、その多くが「わからない」「よく知らない」と答えられていることから、実態が市民の方によく伝わっていないのではないかと考えられます。

◆平成21年度調査からの変化状況（無回答を除く）



7 安心して子育てのできるまちか？

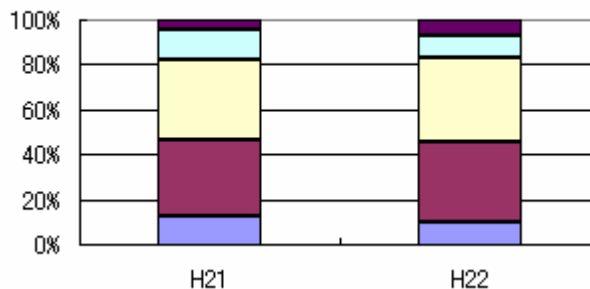
市民の4割以上が、
「安心して子育てができるまち」と回答！



「南丹市が、安心して子育てのできるまちか」という問に対して、43.8%の方が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えており、「安心できない」（「どちらかといえば安心できない」を含む）の13.6%と大きな差がありました。

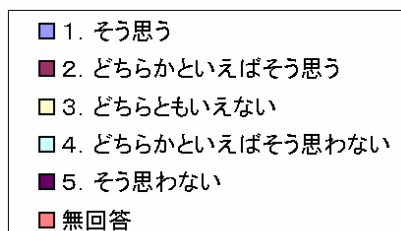
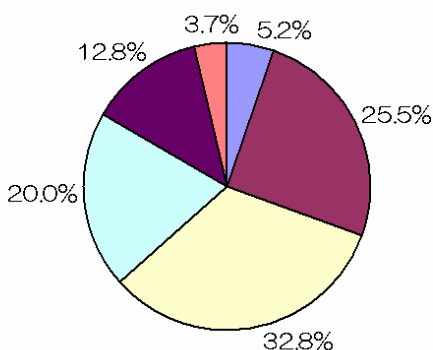
安心できる理由としては、医療の手当や補助金など「市の助成制度がある」や「自然の中で様々な体験ができる」という意見が中心でした。「どちらともいえない」という回答も36.0%ありますが、「家族に子供がいないのでわからない」「地域に子供がいない」といった意見が中心でした。

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)



8 地域全体で子育てを支援する仕組み作りができていますか？

支援する仕組み作りに対して 意見が分かれる！



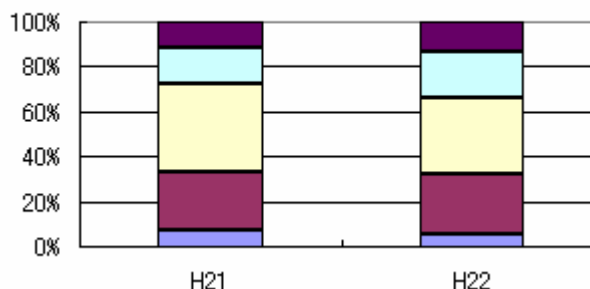
「お住まいの地域において、地域全体で子育てを支援する仕組みが整っているか」という問では、「できていない」または「どちらかといえばできていない」と答えた方の割合が32.8%と、昨年度調査の26.9%から5.9ポイントも増加している状況です。

一方、「できている」または「どちらかといえばできている」と答えた方の割合は30.7%と、昨年度調査時点と大きく変わるものではありませんでした。

また、「どちらともいえない」という回答は、昨年度調査に比べ5ポイント減の32.8%と大きく減っており、その分「できていない」または「どちらかといえばできていない」が増えています。

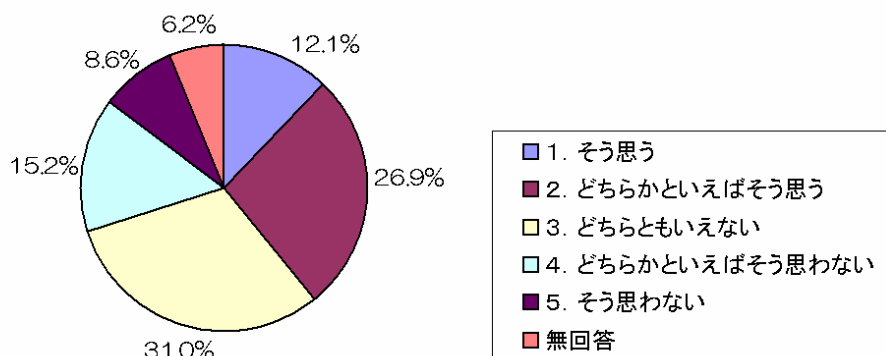
「できていない」（「どちらかといえばできていない」を含む）と回答された方からは、「近所づき合いが少ない」「子どもの数（生徒数）が少ない」「子育てに対する関心が希薄」などの意見がありました。

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)



9 子ども達は、適切な教育環境で学習しているか？

「少人数」という視点で意見が分かれる！

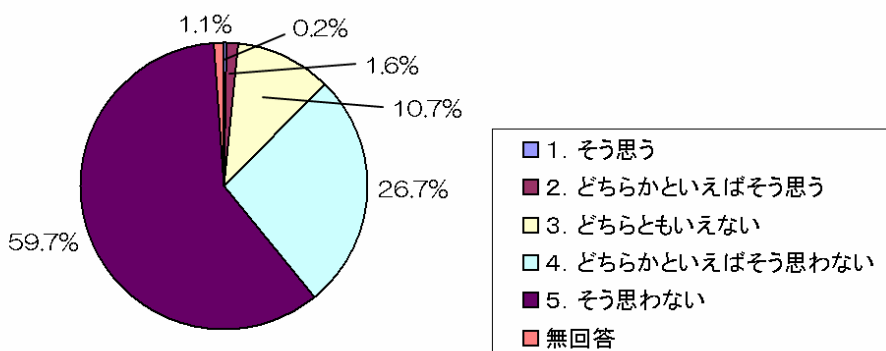


今回初めて調査した項目ですが、「子ども達は、適切な教育環境で学習しているか」という問いに対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えた方の割合が39.0%、それに対し「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と答えた方の割合は23.8%となっており、割合からすると「比較的適切な教育環境で学習している」ということになります。

しかし、回答をいただいた意見を見ると、「少人数」だから「良い」と回答されている方と、だから「問題がある」と回答されている方があることから、一つの視点でも意見が分かれる問題であることが伺い知れます。

10 南丹市の商店街(商業)はにぎわっているか？

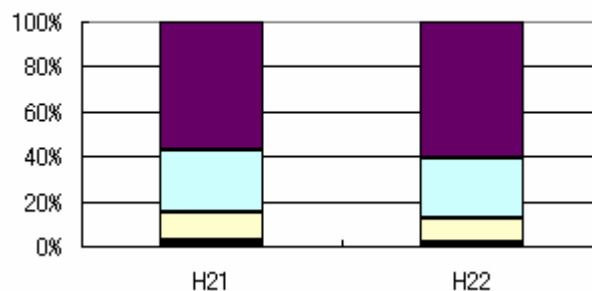
市民の86%の人が、「にぎわいは感じられない」と回答！



「南丹市の商店街（商業）がにぎわっていると感じるか」という問では、59.7%の方が「にぎわっていない」と回答されており、「どちらかというのにぎわっていない」を含めると86.4%になり、昨年度調査に比べ、「にぎわっていない」という回答で2.9ポイント、「どちらかというのにぎわっていない」を含めた場合でも1.5ポイント増となりました。

一方、「にぎわっている」または「どちらか

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)

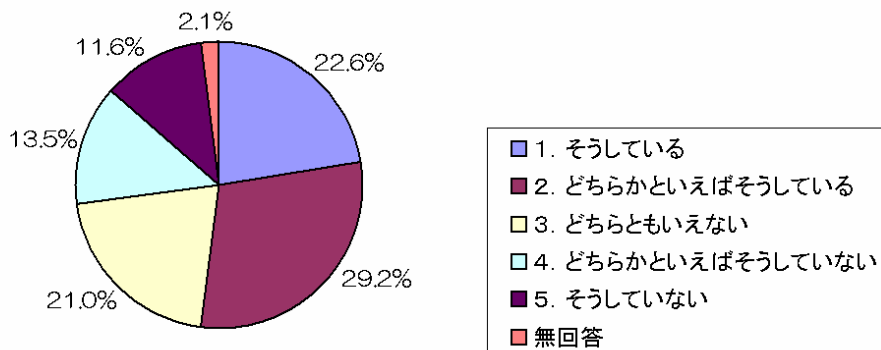


といえばにぎわっている」と答えた人は、わずか 1.8%で、昨年度調査に比べ 0.8 ポイント減少するという状況です。

依然、「商店街がずいぶん淋しくなった」「活気がない」「商店街がさみしく、人がほとんどいない」といった意見が出されています。

11 南丹市で生産された産品を意識して購入されているか？

市民の 2 人に 1 人が、
意識して購入されている！

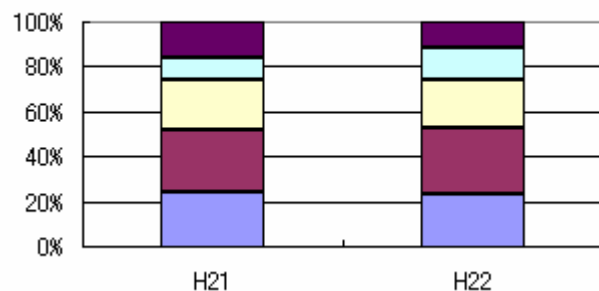


「南丹市で生産された野菜などの産品を意識して購入されているか」という問いに対し、22.6%の方が「意識して購入している」と回答されており、また「どちらかといえば意識して購入している」を含めると 51.8%となります。

昨年度調査に比べ、「意識して購入している」という方の割合は 1.4 ポイント減少しているものの、「どちらかといえば意識して購入している」を含めると 0.6 ポイント増加している状況で、「季節を通じての旬が感じられる」「地産地消は新鮮だしお得感もある」といった理由から、地元で生産された野菜などを購入されている方が増えています。

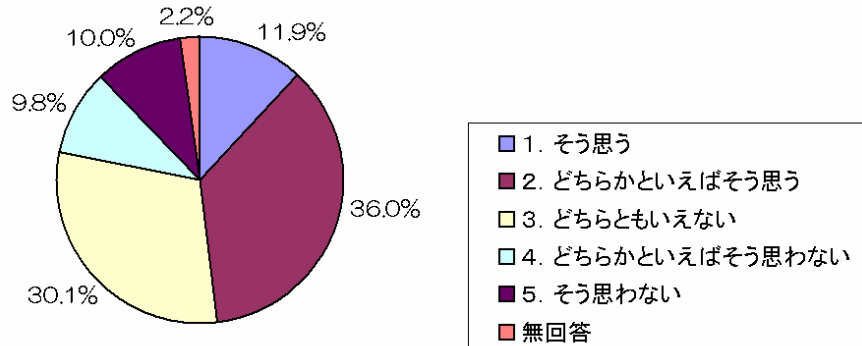
一方、「意識して購入していない」または「どちらかといえば意識していない」と回答した人の割合は、15.1%と昨年度調査とあまり変わりませんが、「意識して購入していない」と回答した方は、4.2 ポイント減の 11.6%となっています。

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)



12 自然や景観が守られていると思うか？

市民の2人に1人が、
「自然は守られている」と回答！

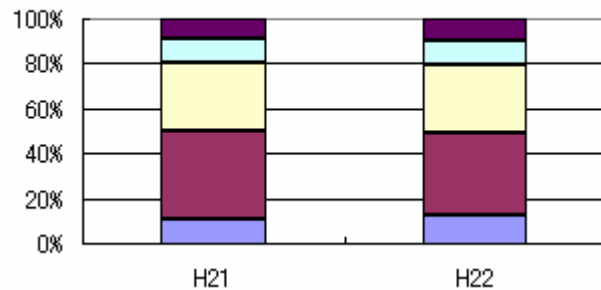


「南丹市において、自然や景観が適切に守られているか」という問では、「守られている」または「どちらかといえば守られている」と回答された方は47.9%で昨年度調査に比べ1.3ポイント減少しています。

一方、「守られていない」「どちらかといえばまもられていない」と回答した方は19.8%で昨年度調査との差はあまりありませんでした。

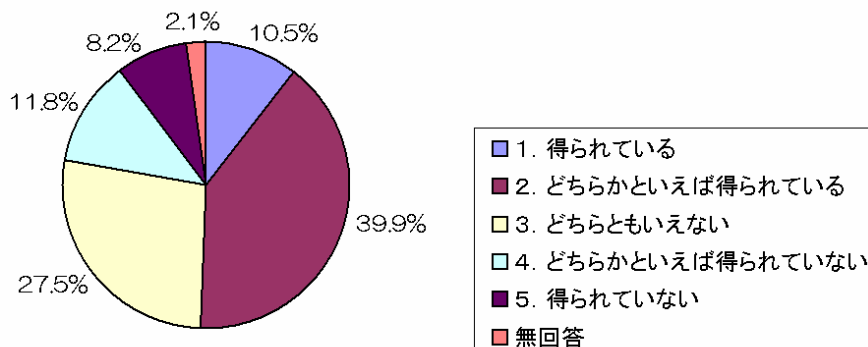
割合からすると、「守られている」または「どちらかといえば守られている」という意見が大半を占めていますが、回答の意見には「自然は守られているというより、放置状態では…」 「山や川が大変あれている」「町の美しさを感じられない」といった意見があるのも事実です。

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)



13 市政についての的確に情報が得られているか？

市民の2人に1人は、
「情報は得られている」と回答！



「市政についての確に情報が得られているか」という問に対して、10.5%の方が「得られている」と回答されており、「どちらかといえば得られている」という回答を含めると50.4%になります。

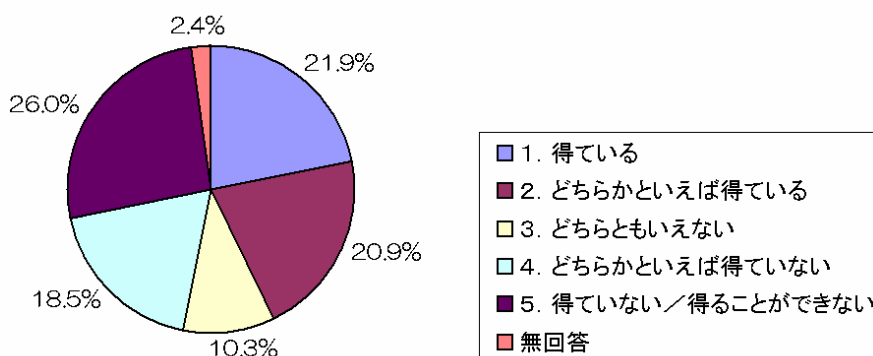
一方、「得られていない」または「どちらかといえば得られていない」と回答された方は20.0%で、市民の半数の方が市政について情報が得られていると感じておられることになります。

その媒体としては、広報誌やお知らせが多いという回答でしたが、「得られている」と回答した人の中にも、「お知らせの回数が多い」「わかりにくい部分がある」という意見がありました。

なお、CATV に対しては、「運動会や卒業式ばかり」「もっとこまめに流してほしい」「議会の時間をもっととってほしい」など、番組編成に対する意見が多くありました。

14 パソコン等を利用して生活に必要な情報を得ているか？

全体では2分されるが、
70歳以上は10%程度！



「パソコン等を利用して生活に必要な情報を得ているか」という問には、42.8%の方が「得ている」または「どちらかといえば得ている」と回答されていますが、44.5%の方が「得ていない/得ることができない」または「どちらかといえば得ていない」と回答されています。

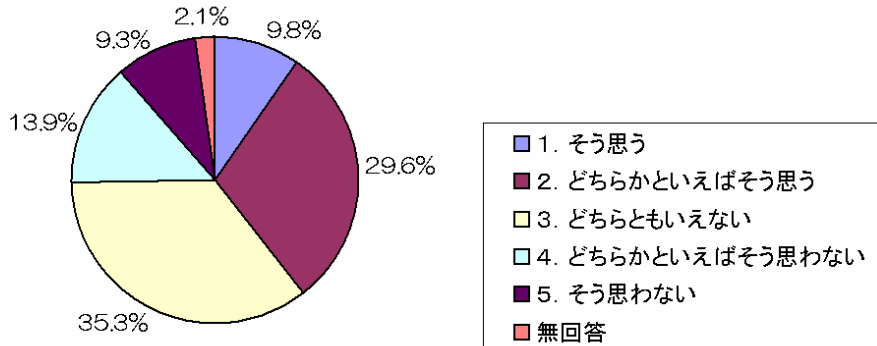
なお、この割合は年代により大きく異なり、20代の方は、70%を越える方が「パソコン等を利用して情報を得ている」と回答されているのに対し、70歳以上の方になると10%近くまで下がってしまいます。

パソコン等を利用していると回答された方からは、「携帯は手軽にボタン操作だけで見やすい」「インターネットは都会も田舎も変わらない情報を得られる」などのご意見があり、中には「ないとやっていけません」という意見すらありました。

一方、パソコン等を利用していないと回答された方は、「そこまでして得たい情報はない」「活用できない」「パソコン、携帯電話はどちらかと言うと苦手」といった意見がありました。

15 災害情報が、的確に発信される体制か？

防災無線の整備により、 整っているとする割合は6%UP！



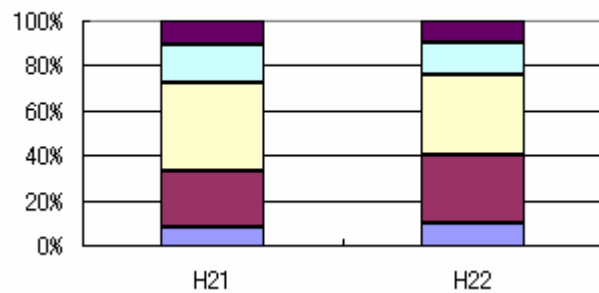
「災害に関する情報について、市から的確に発信される体制が整備されているか」という問では、39.4%の方が「整っている」または「どちらかといえば整っている」と答えられており、昨年度調査から6.8ポイント増となっています。

一方、「整っていない」（「どちらかといえば整っていない」を含む）と答えた方は23.2%と、昨年度調査に比べ4.2ポイント減少しています。

「整っている」（「どちらかといえば整っている」を含む）と答えた方の多くは、防災無線が整備されたことを理由に挙げておられます。

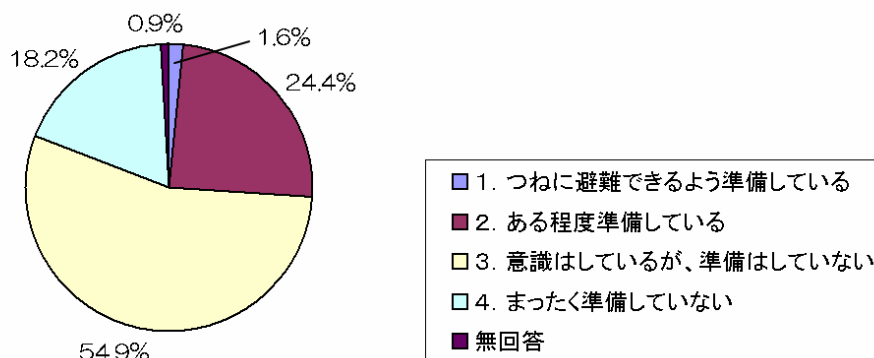
しかし、「実際に機能するかどうかは未知数」「もっと活用できれば」という意見も出されています。

◆平成21年度調査からの変化状況（無回答を除く）



16 避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備は？

「意識はするが準備はしていない」が大半！



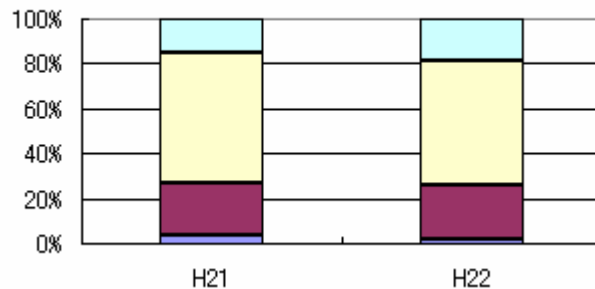
「災害にそなえて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備はしているか」の問に対して、「している」と答えた方はわずか1.6%、「ある程度している」と答えた方を加えても26%で、昨年度調査と比べても大きく変わることはなく、市民の4分の1しか何らかの備えをされていないことになり

ます。

備えをしない理由として、「お金がかかるので用具は準備していない」「日切れになる」という整備や維持管理を問題視されている方もあれば、「あまり災害に対して危機感を持っていない」「起こると思っていない」という回答をされている方もありました。

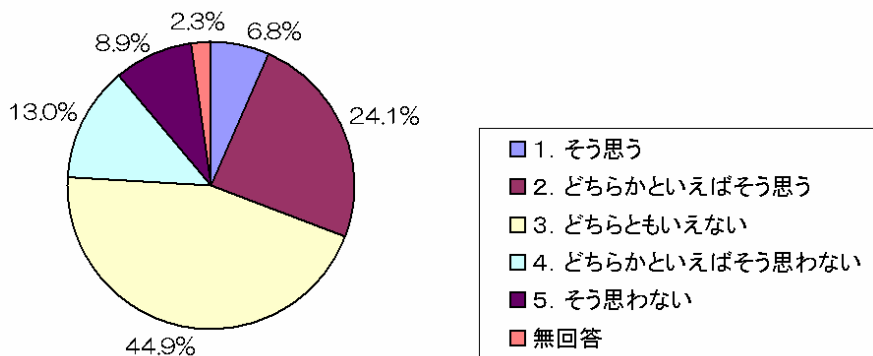
また、「避難場所が大丈夫とは信じていない」「指定されている避難場所は不適切だ」といった、避難場所に関する意見もありました。

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)



17 南丹市は、防災の面で安心して暮らせるまち？

市民の3人に1人が、
「安心して暮らせる」と回答！

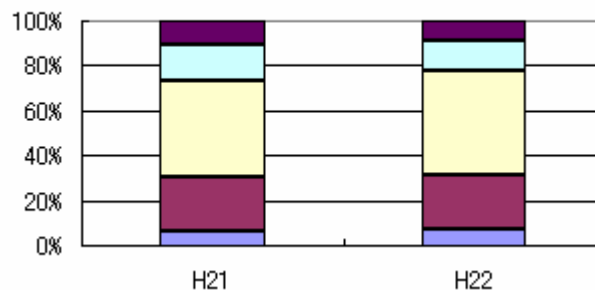


「南丹市は、防災の面で安心して暮らせるまちか」という問では、「安心して暮らせる」または「どちらかといえば安心して暮らせる」と回答された方は30.9%と、昨年度の調査に比べると大きな変化はありませんでした。

一方、「安心して暮らせない」または「どちらかといえば安心して暮らせない」と回答された方は21.9%と、昨年度の調査に比べ4.5ポイント減りました。

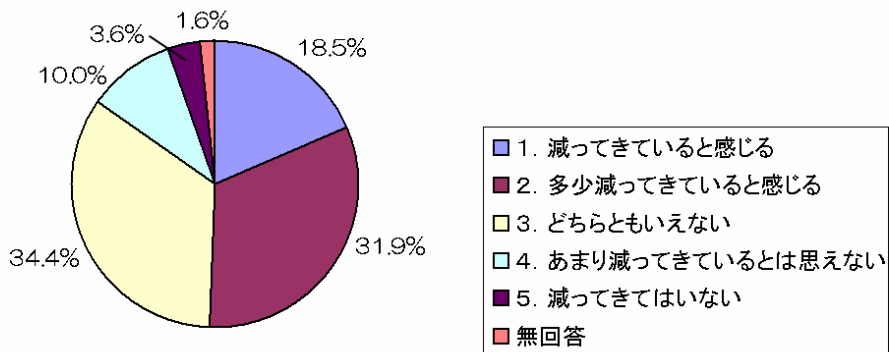
ただし、「どちらともいえない」と回答された方も2ポイント増え44.9%となっています。安心して暮らせる要因として、地域力や消防団の活躍を掲げる方が多くおられます。

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)



18 南丹市において、差別が減ってきていると感じるか？

「減ってきている」が過半数！



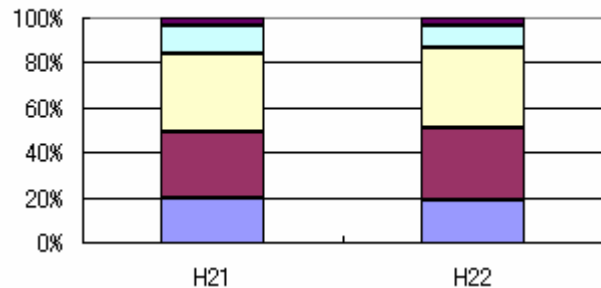
「南丹市において、これらの差別が減ってきていると感じるか」という問では、50.4%の方が「減ってきている」または「多少減ってきている」と回答しています。

これは、昨年度調査の結果を2.2ポイント上回るもので、過半数を超える結果となりました。また、「減っていない」または「あまり減っていない」と回答された方についても13.6%と、昨年度の調査結果から2.4ポイント減少しています。

回答者の意見も、「昔に比べて減っていると思う」「これまでの取り組みによる効果が表れている」「自分の周りでは差別を感じなくなった」といったものが増えてきました。

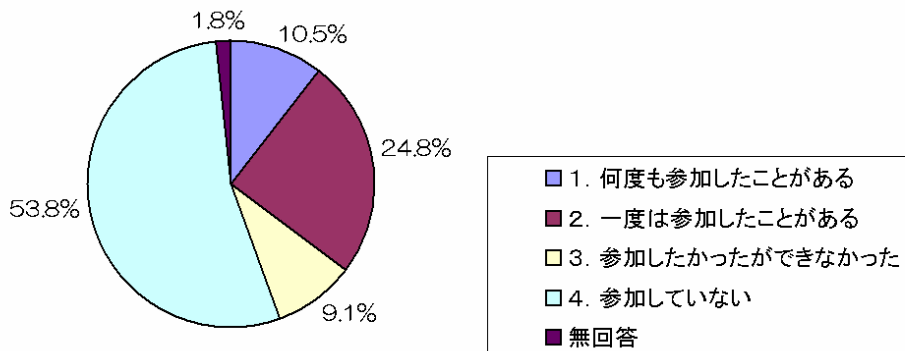
ただし、「差別されてきた人の中でも差別している人がいるという現実がある」「見えにくくなっていくだけ」「まだまだ隠れた偏見がある」という意見もあります。

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)



19 人権問題に関する勉強会等に参加したか？

市民の半数以上が、
勉強会等に参加されていない！

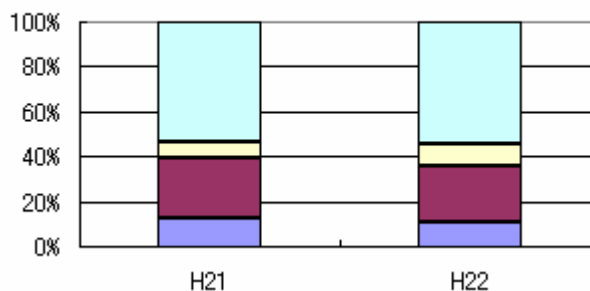


「過去1年間に、人権問題に関する勉強会等に参加したか」という問に対して、35.3%の方が「1回以上参加した」と回答しています。

しかし、53.8%の方が「参加していない」と回答しており、「参加したかったが参加できなかった」という方を含めると、62.9%、約3人に2人は勉強会に参加していないことになります。

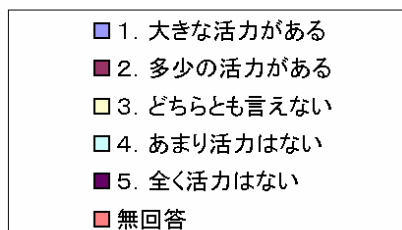
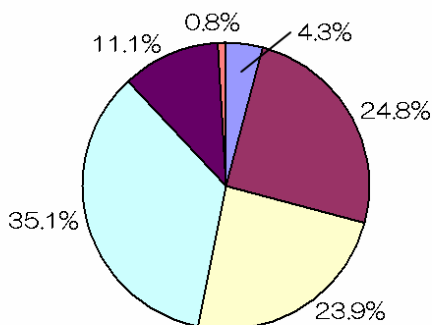
また、参加した「参加した」と回答した方の多くは、学校やPTAが主催する人権学習会、区が開催する研修会、職場の研修が主でした。

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)



20 住んでいる地域には活力があるか？

市民の約3割の方が、「地域に活力がある」と感じている！



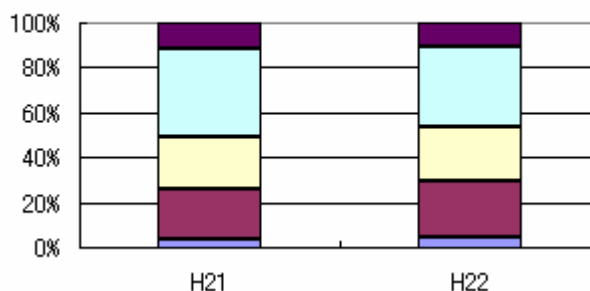
「住んでいる地域に活力があるか」という問いに対して、「大きな活力がある」または「多少の活力はある」と答えた方は29.1%と、昨年度調査の結果よりも3.2ポイント増えています。

また、「全く活力はない」または「あまり活力はない」と答えた方も、昨年度の調査結果よりも4.2ポイント減り46.2%となりました。

活力があるように感じる理由として、「若い方が戻って来ている」「Iターンの人達がんばっておられる」「地域活動が盛んになってきた」という意見が出されています。

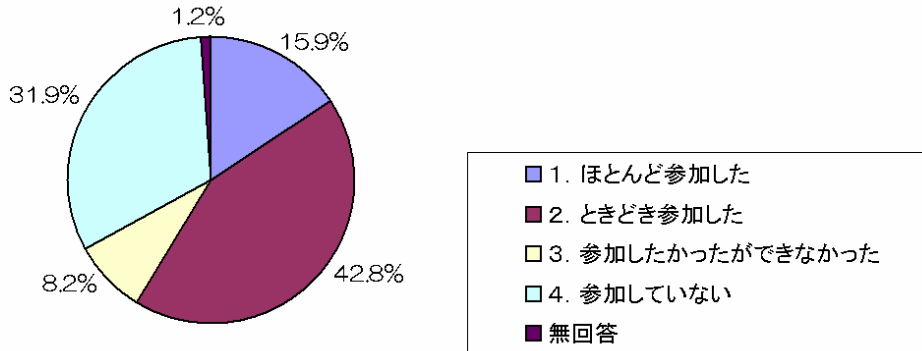
一方で、「高齢化で若者が少ない」「コミュニケーションがない」「新しいことを始めにくい」「古い体質が残りがち」といった意見もありました。

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)



21 地域における活動や市民の自主的な活動に参加したか？

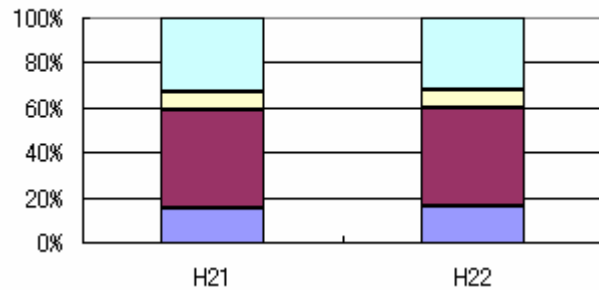
市民の約6割の方が、
地域の活動に参加されている！



「過去1年間で、地域における様々な活動や、市民における自主的な活動に参加したか」という問いに対しては、58.7%の方が「ほとんど参加した」または「ときどき参加した」と回答されており、昨年度の調査結果との差はありませんでした。

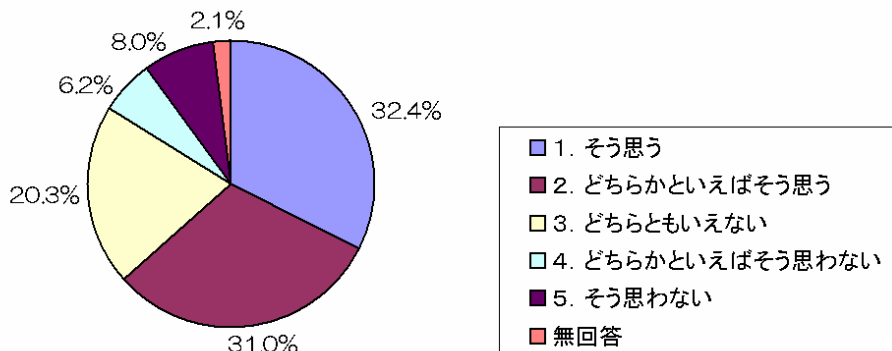
また、地域の活動に参加されている方は、40代よりも上の方が多く、特に40代や50代の方では、70%を越える方が地域の活動等に参加されているようです。

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)



22 地域で培われてきた文化などを自分達が引き継ぐのか？

市民の3人に2人が、
伝統や文化を大切にしたい気持ちがある！



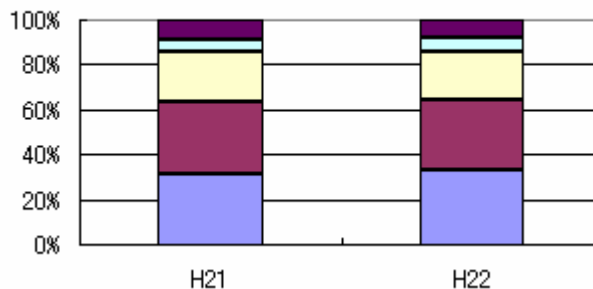
「地域で培われてきた風俗や伝統、文化などについて、自分達が引き継いでいかなければならないと思うか」という問では、63.4%の方が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えています。

一方、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と答えた方は、14.2%でした。

数値的には、昨年度の調査結果とほとんど変わっていません。

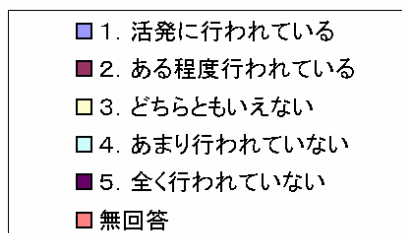
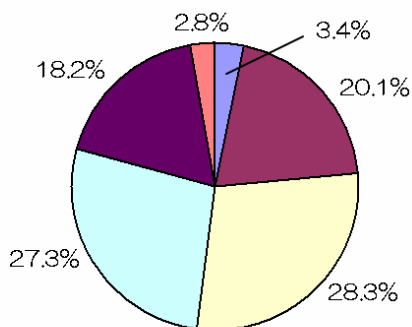
「そう思う」（「どちらかといえばそう思う」を含む）と回答された方からは、「伝統、文化などは引き継いで行く事が大切」「なんとか引き継いでいくことが我々の役目だ」「伝統や文化は大切にしたい」と思っておられるのに対し、「そう思わない」（「どちらかといえばそう思わない」を含む）と回答された方からは、「やはり時代の流れ」「人それぞれの価値感の違いもある」「今の子ども世代には、そんな感情はない」という意見がだされていました。

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)



23 地域と大学などとの交流・連携は活発か？

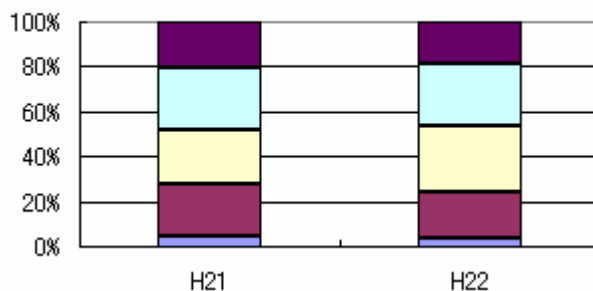
市民の約半数が、大学との交流・連携は活発に行われていないと感じている！



「自分の住まわれている地域において、大学などと、様々な分野の交流・連携が活発に行われているか」という問いに対し、23.5%の方が「活発に行われている」または「ある程度行われている」と回答されていますが、昨年度調査の結果を 3.9 ポイント下回ってしまいました。

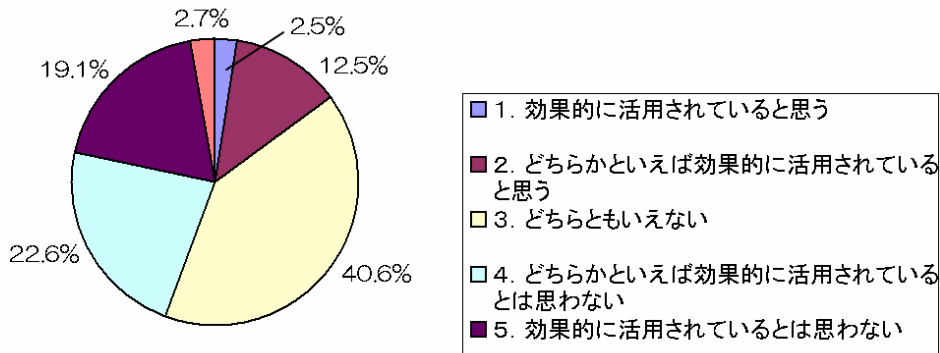
一方、「活発に行われていない」または「あまり活発に行われていない」という回答についても、昨年度調査の結果を 1.3 ポイント下回る 45.5%となりました。

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)



24 税金がまちづくりに効果的に活用されているか？

「効果的に活用されているとは思えない」と思う市民が約4割



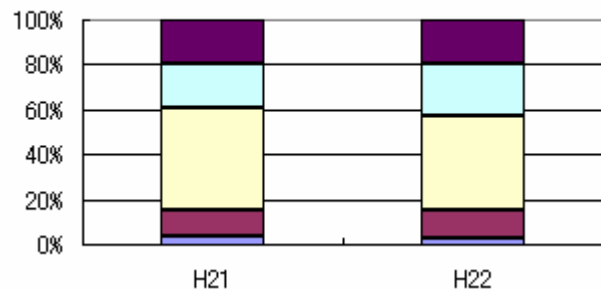
「市民の税金がまちづくりに効果的に活用されているか」という問いに対して、「効果的に活用されている」と答えた方は2.5%、「どちらかといえば効果的に使われている」を併せても15.0%しかありませんでした。

一方、「効果的に活用されていない」と答えた方は19.1%で、「どちらかといえば効果的に活用されていない」を併せると41.7%となり、昨年度の調査結果よりも3.5ポイント増加した結果となりました。

「効果的に活用されていない」（「どちらかといえば効果的に活用されていない」を含む）を選ばれた理由として、「私達に反映（活用）されている感が伝わってこない」「南丹市が均等に良くなっていくのならともかく、どうかすると不公平で不満がでてくる」「そもそも行政そのものがまちづくりに意欲的ですか？」などの意見がありました。

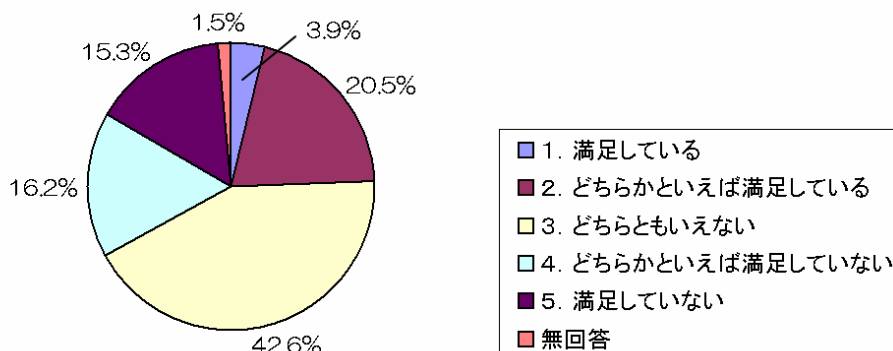
また、「どちらともいえない」とする回答が、昨年度の調査回答よりも減ったもの、依然40%を超える状況にあることも特徴的です。

◆平成21年度調査からの変化状況（無回答を除く）



25-1 南丹市が行っている行政サービスに満足しているか？

市民の満足度は2%増加！



「総合的にみて、南丹市が行っている行政サービスに満足しているか」という問では、24.4%の方が「満足している」または「どちらかといえば満足している」と答えています。

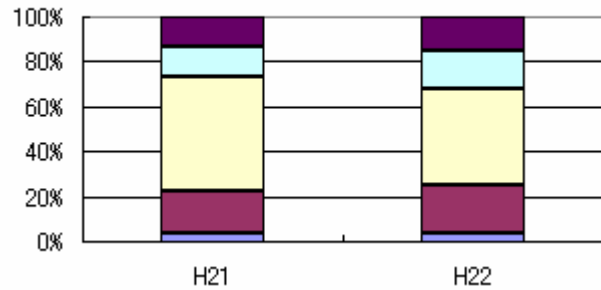
また、「満足していない」または「どちらかといえば満足していない」と回答された方は31.5%となっています。

昨年度の調査結果と比べると、「満足している」（「どちらかといえば満足している」を含む）と回答された方が2.2ポイント増加したのに対し、「満足していない」（「どちらかといえば満足していない」を含む）と回答された方は5.1ポイントも増加しています。また、「どちらともいえない」と回答されている方の割合が依然高く、42.6%となっています。

「満足している」と回答した方からは、「情報環境の整備には感謝している」「この時節、高望みはできない」という意見がありました。

一方、「満足していない」と回答した方からは、「老人には住みにくい」「福祉関係は良いと思うが他の施策をみると市が努力しているとは思えない」という意見がありました。

◆平成21年度調査からの変化状況(無回答を除く)



25-2 行っている行政サービスに満足できない理由は？

市役所(職員)の対応に不満を感じている!?

問 25 で、「4. どちらかといえば満足していない」または「5. 満足していない」を選んだ方にどのような点が不満かを聞きました。

最も多かった意見は、「市役所(職員)の対応」でした。

主な意見は下記のとおりです。

不 満 の 理 由	回答件数
市役所(職員)の対応	24件
サービスにおける地域差	18件
サービスに対する説明不足	14件
交通の便	9件
子育てに対する支援金の減額	6件

「市民からの意見」

「困っていること」「心配していること」は？

地域公共交通機関が不便！2年連続！

「日常生活の中で、今困っていることや、心配していることはないか」という質問に対して、263件のご意見がありました。

公共交通機関に関する意見が最も多く、全体の14%を占めています。その中でも、日常生活との関わりが大きい地域公共交通に関するものが26件ありました。

「困っていること」「心配していること」として意見が多かった項目は下記のとおりです。
なお、上位2項目は、昨年度の調査から変わっていませんでした。

1位：地域公共交通機関が不便なことについて	26件
「車の便がないので大きな病院に行けない。」 「運転不能となれば日常生活が心配。」 など	
2位：地元雇用対策、雇用促進が少ないことについて	17件
「働く場が少ない。こどもが都会に出て家を継がない。」 「若者に限らず、パート職などの主婦にとっても仕事が少ない。」 など	
3位：高齢化による地域活力が減少していくについて	12件
「高齢者家庭が多くなり、どう地域をささえていくのか。」 「人口減少の中、高齢化により集落の活力が低下する。」 など	
4位：鳥獣被害について	11件
5位：生活道路等の整備について	8件
5位：商店街に活気がないことについて	8件

南丹市のまちづくりに対する提案・意見は？

市が行う施策や事業の方向性を明確に！

南丹市のまちづくりに対して、提案やご意見をお聞きしたところ、234件のご意見をいただきました。主なものは次のとおりです。

- 市が行う施策や事業の取り組む姿勢に関する事
- 公共交通機関の充実・整備に関する事
- 市職員の資質向上に関する事
- 商業の活性化に関する事
- 市内における道路網の整備・充実に関する事
- 市民協働の推進に関する事
- 若者定住に向けた取り組みに関する事
- 駅舎及び駅周辺の整備に関する事
- 市街地活性化を含め、まちづくりや地域の活性化に関する事

